

## NaIシンチレーション検出器による非破壊検査(全量検査)

令和3年3月に原子力災害対策本部の「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」が改正され、非破壊式放射能測定装置によりスクリーニングレベル以下であることが確認されたものについて出荷制限が解除されたことに伴い、実施している検査です。県では、令和3年9月17日から林産物のみ実施しています。

### (1) 測定年月日

令和6年11月16日～11月17日

### (2) 測定結果

検査の結果、栗原市内で採取されたムキタケ146点のうち、スクリーニングレベルを超過した7点が流通した可能性がある※ことが判明しました。検査主体（栗原市）に対しては、適切な対応を要請しています。

なお、非破壊検査結果の概要は次のとおりです。

※ ムキタケ146点のうち30点が購入され（残り116点は廃棄）、この中にスクリーニングレベルを超過したものの7点（最大99Bq/kg）が混入している可能性があるもの。

なお、スクリーニングレベルとはスクリーニング法に基づく検査において、国が定めた基準値（100Bq/kg）を確実に下回ると判定するための値であり、ムキタケの場合は66Bq/kg。

宮城県産林産物の放射性物質非破壊検査実施状況

( 令和7年1月8日 公表分 )

区分	品目	今回検査点数			累計検査点数		
		スクリーニングレベル		計	スクリーニングレベル		計
		以下	超過		以下	超過	
林産物	タケノコ (野生)	0	0	0	4,523	115	4,638
	マツタケ (野生)	0	0	0	804	4	808
	ナメコ (野生)	0	0	0	4	0	4
	ナラタケ (野生)	0	0	0	3	0	3
	ムキタケ (野生)	139	7	146	149	7	156
合 計		139	7	146	5,483	126	5,609